

7. リレー競技部門 [3/21(土)]

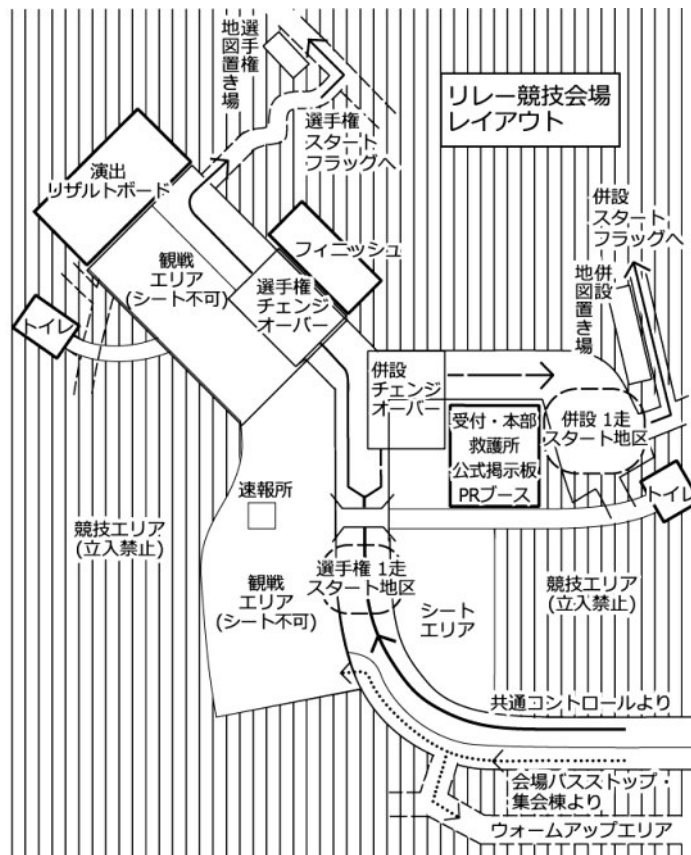
7.1 リレー全般

7.1.1 選手村から競技会場への移動

- 選手村バスストップから会場バスストップまで、大会専用バスで移動する。選手村バスストップの場所は2.4.2を参照すること。
- 選手村バスストップには、発車時刻の5分前までに集合すること。
- 各便の時刻表は2.4.3を参照すること。なお、1便のバスは1走の選手を優先する。
- バスの所要時間は約70分と長時間であるため、トイレなどは乗車前に済ませておくこと。
- 会場バスストップから競技会場までは橙色テープ誘導、徒歩約10分である。
- 開場時刻は7:30である。バスの会場到着時刻がこの時刻よりも早い場合、会場外にて待機させることがある。
- 各宿舎とも、出発前にチェックアウトを行うこと。なお、荷物は夕方まで宿舎に置くことができる。置き場所については宿舎の指示に従うこと。貴重品は各自の責任で管理すること。

7.1.2 会場レイアウト

競技会場レイアウトを以下に示す。なお、レイアウト図は当日、競技会場にも掲示する。



- トイレは、集会棟（屋内）に1ヶ所、競技会場（屋外）に2ヶ所の3箇所ある。
- 集会棟内は飲食禁止である。
- シートはシートエリア内にもみ敷くことができる。
- テントやタープ等の設営は禁止する。

7.1.3 選手変更および欠場者最終受付 [8:00 ~ 8:40]

- オーダー用紙提出後、出場予定選手が出場できなくなった場合に、受付に「リレー直前変更届」を提出することにより、選手変更および欠場を申告することができる。
 - 選手権の部
 - ✓ 選手権の部では、病気・怪我により出場予定選手が出場できなくなった場合、各クラススタートの 1 時間前までに「リレー直前変更届」を提出し(WE では 8:30 まで、ME では 8:40 まで)、かつ裁定委員会の了承が得られたときに限り選手変更を受け付ける。
 - 一般の部
 - ✓ 一般の部については欠場のみ受け付ける。選手変更は認めない。
 - ✓ 欠場が出たチームはリレーへの出走ができない。残りの選手はスプリント競技に出場するか、もしくは観戦となる。なお、この場合も「リレー直前変更届」を提出すること。
 - ✓ 選手権の部へ選手を補充したことにより一般の部のチームに欠員が出て、スプリント競技出場者からの補充は認めない。

7.1.4 地図置き場の確認 [8:40 ~ 9:00]

- 地図置き場を開放する。各自自分の地図の位置を確認すること。
- 地図には手を触れないこと。

7.1.5 デモンストレーション [9:00 ~ 9:10]

- 競技会場で、デモンストレーション（競技説明）を行う。前走者が来る方向、レーンの位置、チェンジオーバーの方法、次走者が行く方向等を確認できる。

7.1.6 弁当配布 [11:00 ~ 13:00]

- 配布の放送がかかり次第、各校の代表者が弁当引換券持参の上、集会棟に弁当を取りに来ること。
- 弁当のゴミは配布所にて回収するので、大学ごとに分別し、まとめて持参すること。
- 回収時間は配布の際に指示する。

7.1.7 地図返却

- 本大会において使用した地図の返却は全日本大会にて行う。
- 全日本大会で受け取れない大学に関しては、地区学連を通して各大学へ返却する。

7.1.8 地図販売および配布

- 本大会（3月18日から3月21日）において、地図販売および配布は行わない。
 - 地図販売
 - ✓ モデルイベント、ミドル・リレーのコース図、全コントロール図の地図販売は、全日本大会にて行う。
 - チームオフィシャル用・賛助会員用地図配布
 - ✓ チームオフィシャルへの地図（全コントロール図、ME および WE のコース図）の配布は全日本大会、あるいは郵送にて対応する。希望者はオフィシャル当人もしくは代理人が ID カードを持参の上受付まで申し出ること。
 - ✓ 日本学連賛助会員には、希望のコース図をミドル、リレー各 1 枚無料で配布する

予定であるが、配布は全日本大会となる。希望者は受付まで申し出ること。

7.1.9 e-card 返却

- 全ての選手が帰還した大学は e-card を各校でまとめて受付に返却すること。

7.1.10 表彰式 [14:00 ~]

- 表彰式は 14:00 頃より行う。詳細は放送によって案内する。
- 選手権の部は男女上位 6 チームを表彰する。
- 一般の部 (MUR、WUR、XUR) は上位 3 チームを表彰する。なお、一般の部のリレー各クラスにおいて、初年度学連登録者のみで構成されたチームのうち最も成績の良かったチームを特別表彰する。
- スプリント競技 (MUS、WUS) は上位 1 名を表彰する。
- 表彰式は一般の部、選手権の部の順に行う。
- 表彰対象者は放送で招集するので、指示された場所に速やかに集まること。
- 花束販売は集会棟にて行う。なお、花束贈呈の際に、表彰対象者以外が表彰台に乗ることを禁止する。

7.1.11 閉会式 [15:00 ~]

- 表彰式終了後、引き続き閉会式を行う。
- 閉会式は以下の内容を予定している。
 - 総評
 - 2008 年度実行委員長挨拶
 - インカレ旗引き継ぎ
 - 2009 年度実行委員長挨拶
 - 閉会宣言

7.1.12 競技会場からの帰路

- 2.4.3 を参照すること。

7.2 リレー競技 (選手権の部)

7.2.1 競技に関する全般的な注意事項

- 競技時間
WE : 5 時間
ME : 5 時間
上記の時間を超えたチームは失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は 14:40 である。
競技途中であっても、上記時刻までにはフィニッシュを通過すること。
- 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法で e-card をフィニッシュに提出すること。提出がない場合は未帰還者として搜索の対象となる。
- e-card 又はナンバーカードの無い選手、およびリレー 1 走においてスタート時刻に遅刻した選手はスタートできない。
- コース上にスペクテーターズレーンを設ける。スペクテーターズレーンには赤白色テープ誘導があるので、誘導に従って進むこと。
- 競技中に地図を紛失した場合は失格とする。

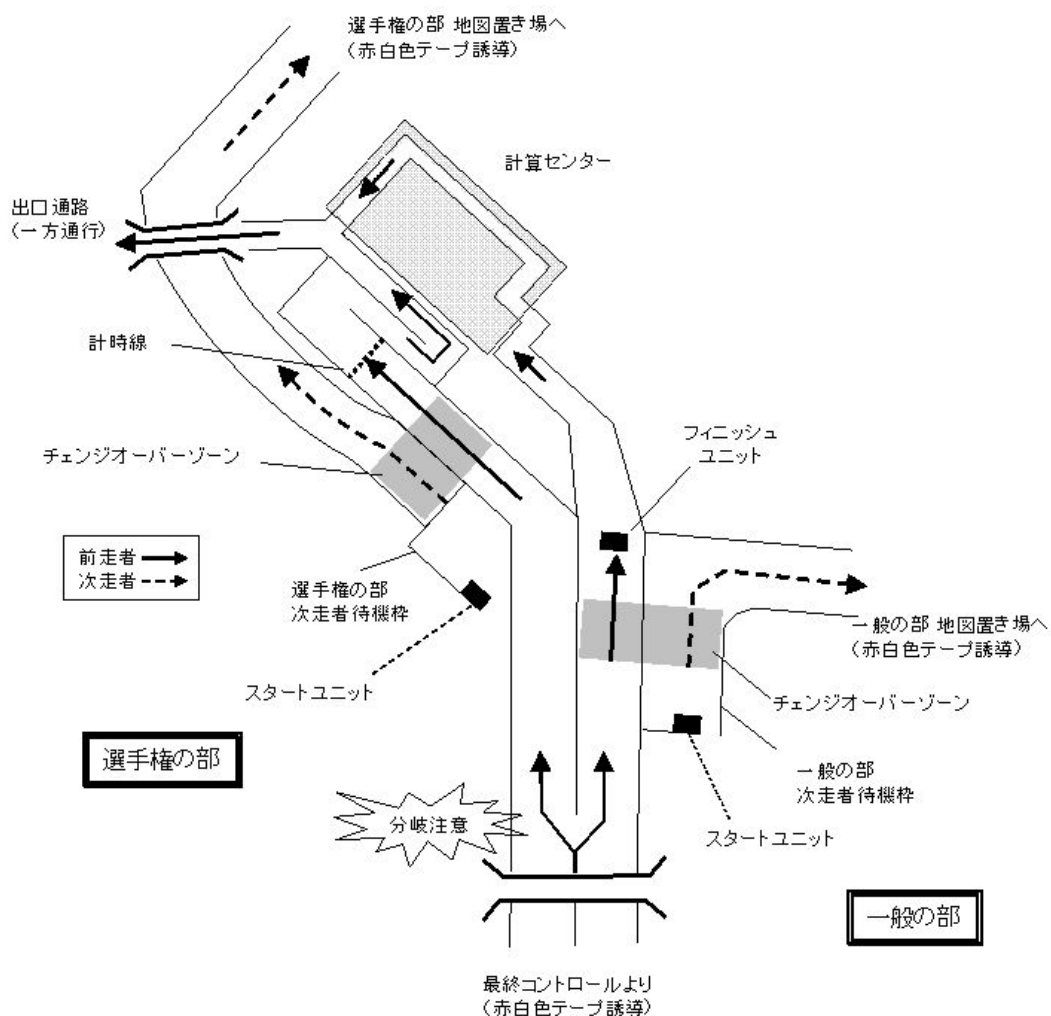
- フィニッシュエリアにて地図を回収する。役員の指示に従って該当する地区学連の箱に入れること。入れなかった場合は失格とする。
- リスタートしたチームは参考記録とする。

7.2.2 1走スタート

- 1走スタート時刻
WE : 9:30
ME : 9:40
- 1走の選手はスタート時刻の10分前に1走スタート地区に集合すること。
- 1走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートするまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って進み、スタートフラッグ(地図上の)を通過すること。これに従わなかった場合は失格とする。

7.2.3 チェンジオーバー

スタート/フィニッシュ地区レイアウトを以下に示す。



- 前走者がフィニッシュの約 3 分前の地点を通過した際、ナンバーカード番号を「前走者接近情報板」に掲示する。掲示が遅れる場合もあるが、インカレ実施規則 25.10 に規定する次走者への告知はこれに依るものとする。また、前走者の姿が会場内に見えてからチェンジオーバーまでの所要時間は 30 秒程度と予想される。
- 選手権の部次走者待機枠入口にスタートユニットを設置する。各自、e-card のアクティベートを行うこと。故障が疑われる場合は役員に申し出て交換すること。
- チェンジオーバーは、前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合、そのチームは失格とする。
- 次走者が次走者待機枠にいない場合は、その場で役員に申し出て、指示に従い次走者を待つこと。チェンジオーバーを行うまで計時線を通過してはならない。
- チェンジオーバー後の次走者は、赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取ること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格とする。
- 自分の地図が無い場合は、地図置き場付近の役員に申し出ること。
- 地図を取った後は、赤白色テープ誘導に従い、スタートフラッグ（地図上の ）を通過すること。これに従わなかった場合は失格とする。

7.2.4 フィニッシュ

- 最終コントロールからは、赤白色テープ誘導に従って、計時線を通過する。
- e-card は役員の指示に従って提出すること。失格判定を行った後、その場で選手に返却する。e-card を提出できない場合には失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は 14:40 である。
- フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けない。
- 調査依頼は、フィニッシュ後速やかに、受付に備え付けの調査依頼用紙に記載の上、本部まで提出すること。調査依頼の締め切りは 15:40 である。

7.2.5 リスタート

- リスタート時刻は ME、WE 共に 12:50 を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合がある。変更の場合は会場にて放送を行うので、放送には注意すること。
- リスタート時刻の 10 分前までにチェンジオーバーできなかったすべての選手は、選手権の部次走者待機枠に集合すること。リスタート時刻に遅刻した選手はスタートできない。
- リスタートを希望しない場合は、必ず次走者待機枠の役員に申し出ること。
- 次走者待機枠集合後も、リスタート時刻まではチェンジオーバーが可能である。

7.2.6 失格

- 失格が判明した場合、該当校に通知する。
- 失格チームは、その後のチェンジオーバーを禁止する。
- 失格チームの未出走者は、リスタート時にスタートできる。

7.2.7 ウィンングラン

- 選手権の部において優勝が確定的なチームのみ、ウィンングラン（同チームの選手による最終走者の伴走）を行うことができる。希望する場合は、本部に申し出て許可を得ること。ただし、競技状況によっては許可しない場合もある。
- 役員の指示に従ってウィンングランを行うこと。

7.3 リレー競技（一般の部）

7.3.1 競技に関する全般的な注意事項

- 競技時間：4 時間 30 分
上記の時間を越えたチームは失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は 14:30 である。
競技途中であっても、上記時刻までにはフィニッシュを通過すること。
- 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法で e-card をフィニッシュに提出すること。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となる。
- e-card 又はナンバーカードの無い選手、およびリレー1 走においてスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。
- コース上にスペクテーターズレーンを設ける。スペクテーターズレーンには赤白色テープ誘導があるので、誘導に従って進むこと。
- 競技中に地図を紛失した場合は失格とする。
- フィニッシュエリアにて地図を回収する。役員の指示に従って該当する地区学連の箱に入れること。入れなかった場合は失格とする。
- リスタートしたチームは参考記録とする。

7.3.2 1 走スタート

- 1 走スタート時刻
MUR : 9:50
WUR / XUR : 10:00
- 1 走の選手はスタート時刻の 10 分前に 1 走スタート地区に集合すること。
- 1 走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートするまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って進み、スタートフラッグ（地図上の ）を通過すること。これに従わなかった場合は失格とする。

7.3.3 チェンジオーバー

- スタート/フィニッシュ地区レイアウトは 7.2.3 を参照すること。
- 前走者がフィニッシュの約 3 分前の地点を通過した際、ナンバーカード番号を「前走者接近情報板」に掲示する。掲示が遅れる場合もあるが、インカレ実施規則 25.10 に規定する次走者への告知はこれに依るものとする。また、前走者の姿が会場に見えてからチェンジオーバーまでの所要時間は約 30 秒と予想される。
- 一般の部次走者待機枠入口にスタートユニットを設置する。各自、e-card のアクティベートを行うこと。故障が疑われる場合は役員に申し出て交換すること。
- チェンジオーバーは、前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合はそのチームは失格とする。
- 次走者が次走者待機枠にいない場合は、その場で役員に申し出て、指示に従い次走者を待つこと。チェンジオーバーするまではフィニッシュできない。
- チェンジオーバー後の次走者は、赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取ること。

- 他の選手の地図を取った場合は失格とする。
- 自分の地図が無い場合は地図置き場付近の役員に申し出ること。
- 地図を取った後は、更に赤白色テープ誘導に従って進み、スタートフラッグ（地図上の）を通過すること。これに従わなかった場合は失格とする。

7.3.4 フィニッシュ

- 最終コントロールからは、赤白色テープ誘導に従ってフィニッシュレーンに入る。
- フィニッシュはパンチングフィニッシュとする。
- e-card は役員の指示に従って提出すること。失格判定を行った後、その場で選手に返却する。e-card を提出できない場合には失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は 14:30 である。
- フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けない。
- 調査依頼は、フィニッシュ後速やかに、受付に備え付けの調査依頼用紙に記載の上、本部まで提出すること。調査依頼の締め切りは 15:30 である。

7.3.5 リスタート

- リスタート時刻は MUR、WUR、XUR いずれも 13:00 を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合がある。変更の場合は会場にて放送を行うので、放送には注意すること。
- リスタート時刻の 10 分前までに、チェンジオーバーできなかったすべての選手は一般の部次走者待機枠に集合すること。リスタート時刻に遅刻した選手はスタートできない。
- リスタートを希望しない場合は、必ず次走者待機枠付近の役員に申し出ること。
- 次走者待機枠集合後、リスタート時刻まではチェンジオーバーが可能である。

7.3.6 失格

- 失格は、各チームには連絡しないため、各自、会場内の成績速報に注意すること。
- 失格となっても、該当チームのその後のチェンジオーバーは禁止しない。

7.4 スプリント競技

7.4.1 競技に関する全般的な注意事項

- 競技時間：90 分
上記の時間を超えた選手は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は 11:30 である。
競技途中であっても、上記時刻までにはフィニッシュを通過すること。
- 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法で e-card をフィニッシュに提出すること。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となる。
- e-card 又はナンバーカードの無い選手、およびスタート時刻に遅刻した選手はスタートできない。
- コース上にスペクテーターズレーンを設ける。スペクテーターズレーンには赤白色テープ誘導があるので、誘導に従って進むこと。
- 競技中に地図を紛失した場合は失格とする。
- フィニッシュエリアにて地図を回収する。役員の指示に従って該当する地区学連の箱に入れること。入れなかった場合は失格とする。

7.4.2 スタート

- スタート時刻

MUS / WUS : 10:00

- スタート 10 分前にスタート地区に集合すること。
- スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートするまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って進みスタートフラッグ（地図上の ）を通過すること。これに従わなかった場合は失格とする。

7.4.3 フィニッシュ

- 最終コントロールからは、赤白色テープ誘導に従ってフィニッシュレーンに入る。
- フィニッシュはパンチングフィニッシュとする。
- e-card は役員の指示に従って提出すること。失格判定を行った後、その場で選手に返却する。e-card を提出できない場合には失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は 11:30 である。
- フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けない。
- 調査依頼は、フィニッシュ後速やかに、受付に備え付けの調査依頼用紙に記載の上、本部まで提出すること。調査依頼の締め切りは 12:30 である。